

令和6年度 道央自動車道 道路構造検討業務

特 記 仕 様 書（案）

令和6年6月

東日本高速道路株式会社
北 海 道 支 社

第1章 総則

1-1 適用

本特記仕様書は、東日本高速道路株式会社北海道支社が実施する「令和6年度 道央自動車道 道路構造検討業務」に適用するものとする。

1-2 調査等概要

1-2-1 調査等名 令和6年度 道央自動車道 道路構造検討業務

1-2-2 道路名 道央自動車道

1-2-3 履行箇所
自) 北海道 伊達市 松ヶ枝町
至) 北海道 登別市 青葉町
自) 北海道 上川郡 和寒町 三笠
至) 北海道 上川郡 剣淵町 藤本町

1-2-4 主な履行内容

・道路概略設計B

項 目		単 位	数 量
道路概略設計B	現地踏査	式	1
道路概略設計B	設計計画	km	33.66
道路概略設計B	縦断設計	km	33.66
道路概略設計B	平面図作成	km	33.66
道路概略設計B	縦断図作成	km	33.66
道路概略設計B	標準横断図作成	枚	5
道路概略設計B	横断図作成	km	28.10
道路概略設計B	土積図作成	km	33.66
道路概略設計B	数量計算	km	30.08
道路概略設計B	設計打合せ	式	1

1-3 適用する共通仕様書

契約書第1条に規定する「調査等共通仕様書」（以下「共通仕様書」という。）は、令和5年7月版とする。

1-4 資料の貸与

共通仕様書 1-15 に基づく貸与資料は、次のとおりである。

貸与資料	調査等業務	貸与予定日	備考
完成図（伊達 IC～登別室蘭 IC）		契約締結の日の翌日より 7 日以内	紙または電子データ（TIFF データ）
完成図（和寒 IC～士別剣淵 IC）		契約締結の日の翌日より 7 日以内	紙または電子データ（TIFF データ）
報告書	①路線測量業務	契約締結の日の翌日より 7 日以内	紙または電子データ（TIFF データ） ①～⑤については I 期線施工時データ
	②土質調査業務		
	③構造物基礎調査		
	④道路詳細設計		
	⑤橋梁詳細設計		
	⑥道央自動車道 地質リスク検討業務		

なお、監督員が貸与資料の返却を求めた場合は、速やかに返却するものとする。

1-5 計画工程表

1-5-1 計画工程表の記載事項

受注者は、共通仕様書 1-14-1（2）に示す作業計画書の計画工程表の作成にあたっては、下記の項目ごとに作業完了時期を明示し提出するものとする。ただし、記載する項目は監督員と受注者との協議の上変更することが出来るものとする。

計画工程表は本特記仕様書 1-4 に示す資料の貸与時期、及び共通仕様書 1-22 に規定する打合せの実施時期についても十分検討の上作成するものとし、これらの事項は計画工程表に記載するものとする。

種 別	工 種	作業単位	備考
道路概略設計 B	現地踏査	式	
	設計計画	k m	
	縦断設計	k m	
	平面図作成	k m	
	縦断図作成	k m	
	標準横断図作成	枚	
	横断図作成	k m	
	土積図作成	k m	
	数量計算	k m	
	設計打合せ	式	

1-5-2 計画工程表に基づく作業状況の報告

受注者は、共通仕様書 1-2-2 に規定する打合せの実施時に、作業の実施状況を計画工程表に記載した上で、監督員に報告するとともに、調査等打合簿に添付するものとする。

なお、受注者は、前項で規定した完了時期が著しく変更となる場合は、共通仕様書 1-1-4-3 に基づき変更計画工程表を監督員に提出するものとする。また、その結果調査等内容の変更が生じる場合の取扱いは受注者と監督員とで協議の上決定するものとする。

1-6 打合簿の作成及び提出について

受注者による共通仕様書 1-2-2 に規定する調査等打合簿の監督員への提出は、打合せ後 7 日以内（行政機関の休日等を除く）に監督員に提出するものとする。

また、監督員は、受注者より提出のあった調査等打合簿を受領後 7 日以内（行政機関の休日等を除く）に受注者へ返送するものとする。

1-7 履行報告

共通仕様書 1-2-4 「履行報告」に下記を追加する。

1-2-4-1 工程の管理

- (1) 受注者は、共通仕様書 1-1-4-1 に規定する計画工程表（様式-1）を作成するにあたって、作業計画に影響する懸案事項がある場合は、その内容を明記するとともに、課題解決のための受発注者責任分担、対応者（監督員又は受注者）及び対応時期を明記するものとする。
- (2) 前項の規定に従い作成した計画工程表を、受発注者双方で確認し認識を共有するものとする。
- (3) 受注者若しくは発注者は、計画工程表に明記した事項に変更が生じた場合、速やかに記載事項を修正するとともに、修正した計画工程表を受発注者双方で認識し共有するものとする。

1-8 合同現地踏査

合同現地踏査は、共通仕様書に規定されている受注者が行う現地踏査に発注者が同行して現地状況等の把握のほか、当該業務の課題及び契約内容について確認を行うものをいう。

合同現地踏査は、業務着手後速やかに行うことを原則とし、実施時期及び実施方法については受発注者協議のうえ決定するものとし、踏査に伴い確認した事項は調査等打合せ簿に記録し、受発注者で相互に確認するものとする。

なお、業務の追加・変更が発生した場合、又は共通仕様書に規定のない業務において発注者がその必要性を認めた場合は、合同現地踏査を実施するものとし発注者は必要な費用を負担するものとする。

また、合同現地踏査により新たな課題等が発生した場合は、必要に応じて計画工程表を見直すものとする。

1-9 照査技術者及び照査の実施

共通仕様書 1-9-3「照査の実施」～1-9-7「照査に必要な費用」は共通仕様書によらず下記の通りとする。

1-9-3 照査の実施

受注者は業務の実施にあたり、照査を適切に行わなければならない。

照査は、「設計照査の手引き」（東日本高速道路（株）ホームページに記載）により実施するものとする。

照査技術者は、設計条件の整合、設計図書と設計打合せ事項との整合、設計図面と応力・数量計算書との整合等について照査しなければならない。

受注者は、詳細設計（構造物設計においては基本設計及び詳細設計が対象）においては、成果品をとりまとめるにあたって、設計図、設計計算書、数量計算書等について、それぞれ及び相互（設計図－設計計算書間、設計図－数量計算書間）の整合を確認する上で、確認マークをするなどしてわかりやすく確認結果を示し、間違いの修正を行うための照査（以下、「赤黄チェックという。」）を実施する。

なお、赤黄チェックの資料は提出③に合わせて監督員に提出し、監督員は確認結果の回答時に返却するものとする。

また、照査技術者は提出③の際に赤黄チェックの根拠となる資料を発注者に提示するものとする。（詳細設計（構造物設計においては基本設計及び詳細設計が対象）に限る。）

1-9-4 照査計画の作成

受注者は、共通仕様書 1-14 に定める作業計画書に、下記の照査計画を記載しなければならない。

①照査目的 ②照査技術者 ③照査項目 ④照査フローチャート ⑤照査時期 ⑥照査体制 ⑦照査報告書の構成及び照査項目一覧表（チェックリスト）

照査時期については、計画工程表によるものとする。

なお、照査における照査項目一覧表は「設計照査の手引き」によるものとし、照査フローチャートは「設計照査の手引き」によらず別紙 1 のとおりとする。

なお、「設計照査の手引き」の第 1 章から第 6 章に記載するフローについても別紙 1 に準じるものとする。

1-9-5 成果の確認

照査技術者は、前項で定めた照査計画に従い、成果品の内容について受注者の責において照査技術者自身による照査を行わなければならない。

1-9-6 業務完了前の報告

受注者は、業務完了届提出の 60 日前までに、「設計照査の手引き」に基づく照査③以降の作業及びそれに対する修正等の対応を除き完了しなければならない。業務完了届提出の 60 日前までに業務の実施状況を報告するものとする。

なお、『「照査③」及び「提出③」に対する監督員の確認及びそれに対する受注者の修正等の対応（成果品の納品）』の各々の期限について、業務完了届提出の 60 日前までに受発注者にて協議し、受注者はその確認内容を調査等打合せ簿にて記録するものとする。

1-9-7 照査結果の報告

受注者は、「設計照査の手引き」に基づく段階ごとの照査完了の都度、上記1-9-4⑦に示す照査項目一覧表（チェックリスト）に、照査結果の内容を記載し監督員に提出するものとする。

また、受注者は、業務完了時の最終段階の照査完了後、上記1-9-4⑦に示す照査項目一覧表（チェックリスト）及び照査技術者が署名または捺印した照査報告書を取りまとめ、監督員に提出するものとする。なお、照査報告書は成果品に含めて発注者に納めなければならない。

1-9-8 照査結果に対する通知

監督員は、上記1-9-7で受注者から提出された照査項目一覧表（チェックリスト）を速やかに確認し、その結果を調査等打合せ簿にて受注者に通知するものとする。受注者は、監督員からの通知に対して適切に対応しなければならない。

なお、監督員からの通知内容に関わらず契約図書に基づく受注者の照査義務及び成果品の品質確保の責務を逃れるものではない。

1-9-9 照査に必要な費用

前記1-9-3～1-9-8に必要な費用については、関連項目に含むものとする。

1-10 作業計画書

共通仕様書1-14-1「作業計画書の提出」は共通仕様書によらず下記の通りとする。

1-14-1 作業計画書の提出

受注者は、調査等着手前に、次の各号に掲げる当該調査等の全体計画に関する事項を記載した作業計画書を監督員に提出しなければならない。ただし、調査等着手前に提出することが困難なものについては、後日別途提出することができるものとする。

また、設計図書その他の規定により作業計画書に記載すべき事項と同様な内容の書類がある場合、または監督員が必要でないと認めた場合は、この限りではない。

なお、監督員は、提出された作業計画書に著しい不備等がある場合には、受注者に対して修正を求めることができるものとする。

- | | |
|----------------|----------------------|
| (1) 調査等概要 | (6) 連絡体制（緊急時を含む） |
| (2) 計画工程表 | (7) 仕様書に定められた事項 |
| (3) 業務組織表 | (8) 成果品の品質を確保するための計画 |
| (4) 主要機械器具及び設備 | (9) その他必要事項 |
| (5) 基本的な調査方法 | |

第2章 業務細部に関する事項

2-1 業務の内容

本業務は、道央自動車道（伊達IC～登別室蘭IC及び和寒IC～士別剣淵IC）の道路構造を検討する概略設計業務である。

2-2 道路概略設計B

2-2-1 設計条件

本業務の設計条件は、以下のとおりとする。

・伊達IC～登別室蘭IC

(1) 道路規格：第1種第2級

(2) 設計速度：100km/h

(3) 設計内容：供用中の暫定2車線の4車線化の概略設計

・和寒IC～士別剣淵IC

(1) 道路規格：第1種第2級

(2) 設計速度：100km/h

(3) 設計内容：供用中の暫定2車線の4車線化の概略設計

2-2-2 設計延長種別

本業務の設計延長種別は、以下のとおりとする。

設計延長種別	延長
平地部	0.00km
山地部	28.10km
急峻山地部	0.00km
橋梁部	1.98km
トンネル部	3.58km
計	33.66km

本業務の実施により、上記設計延長等を大幅に変更する場合は、別途監督員と協議を行うものとする。

2-3 設計打合せ

本業務における設計打合せの回数は、業務内容確認検査及び完了検査を含め8回を想定している。

設計打合せの検測数量は1式とする。なお、業務に大幅な変更が生じた場合、打合せ回数の増減に伴う費用は、別途監督員と協議するものとする。

2-5 成果品

報告書の表紙は黄色、黒文字製本とする。なお、成果品の部数に関しては、共通仕様書1-45-5によるものとする。

以 上